

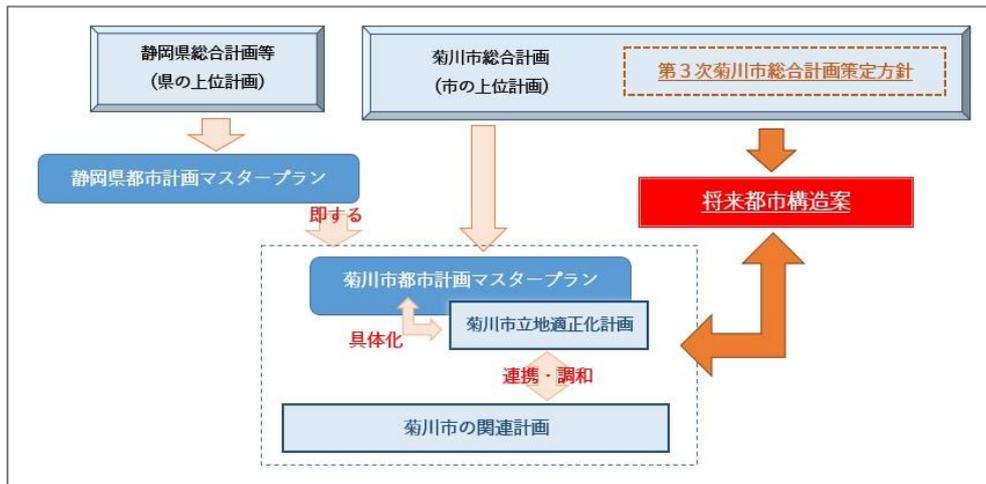
第3次菊川市総合計画における「将来都市構造」案について

1. 「将来都市構造」の目的・方向性について

第3次菊川市総合計画において、目指す都市のかたち「将来都市構造」を示すことで、適正かつ計画的な土地利用や都市づくりを進めます。

「将来都市構造」を作成するにあたり、関連性の高い県計画や菊川市都市計画マスタープラン、菊川市立地適正化計画と整合を図り、第3次菊川市総合計画策定方針における策定の方向性をもとに作成しました。

(参考) 第3次菊川市総合計画における「将来都市構造案」体系イメージ



2. 「将来都市構造」の骨子案について

★「将来都市構造」の基本的な考え方

【視点①】人口課題 【視点②】脱炭素社会 【視点③】デジタル 【視点⑩】SDGs

①都市機能が便利に使える「コンパクト+ネットワーク」の都市づくり 【視点⑦】交通ネットワーク

②人や企業が集まり活力を生み出す都市づくり 【視点⑤】産業振興

③みどりあふれる豊かな自然環境と歴史・文化が調和した都市づくり 【視点⑥】自然と歴史・文化

➡ 第3次総合計画における策定の方向性 ①「人口課題に対応した計画」

④市民と事業者とともにほぐくむ都市づくり 【視点⑧】地域コミュニティ

⑤多彩な人と文化が交わる賑わいあふれる都市づくり 【視点⑨】多様性

➡ 第3次総合計画における策定の方向性 ②「社会状況の変化に対応した計画」

⑥災害に強く安全安心に暮らせる都市づくり 【視点④】自然災害(安全安心)

➡ 第3次総合計画における策定の方向性 ③「予測困難な自然災害に対応した計画」